



生き生きと働ける職場づくり ④

引用文献：「教職員のためのコミュニケーションガイドブック」（令和6年3月 東京都教育庁人事部）

「うれしかった」「励みになった」若手教員に聞いたリアル・エピソード ①

Q 先輩や上司からの言動で、うれしかったり仕事の励みになったエピソードは？

回答者：採用3年目までの小・中学校教員（4,182名）

若手教員のうれしかった・励みになったエピソードには、コミュニケーションのヒントがたくさん詰まっています。

【的確なエピソード】

- 自分がミスをしてしまった際に、どこがダメであったかを教えてくださり、生徒や保護者に対してフォローする点を的確に指摘してくださった時。

（特別支援学校・1年目・20代）

- 注意されたり、指導されたりすることもあります。根拠をもった指導なので自身が納得できて、すぐ受け入れられます。私が1年次のときには、教科の指導教官の先生が授業を観察してくださり、授業のフィードバックをしてくださいました。プライベートにもお付き合いして下さる先輩方が多いため、ストレスフルであった生活も今では楽しく過ごすことができます。

（中学校・3年目・20代）

【声をかけてくれた】

- 校長先生という立場にも関わらず、字が上手ですね、と褒めてくれたり、小さなことでも日々声をかけてくださること。
（小学校・3年目・30代）
- 困ったときに、すぐに声をかけてくれて一緒に考えてくれた。自分からも相談がしやすくなり、一人で抱え込まずに仕事に励める。
（小学校・3年目・30代）
- 自身の裁量内の業務について、「いいと思う」「やってみよう」など基本的に前向きな声かけをもらった。
（高等学校・2年目・30代）

